

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年6月15日

【評価実施概要】

事業所番号	0873400378		
法人名	有限会社 ひだまりの家		
事業所名	グループホーム ひだまりの家		
所在地	茨城県常陸太田市下利員1086-1 (電話) 0294-76-0930		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年2月19日	評価確定日	平成21年6月12日

【情報提供票より】 (平成21年1月21日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年5月15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	21 人	常勤 4人, 非常勤 17人, 常勤換算	5.0人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての 1 ~ 2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,400 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	—
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 200 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(平成21年1月21日現在)

利用者人数	15 名	男性 4 名	女性 11 名
要介護1	4 名	要介護2	0
要介護3	6 名	要介護4	5 名
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 80.7 歳	最低 61 歳	最高 93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	根本医院、西垣歯科
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「一人ひとりを大切に、まごころ込めて、理解し合える家族のように」という理念のもと、家庭的な暖かい雰囲気が感じられる。
職員は利用者の残存能力を活かすケアに努めている。
管理者が病院と連携を図りながら認知症の症状の改善や薬の服用による弊害を減らす努力をしている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の課題を具体的な実践につなげるために努力をしているが、介護計画の見直しやチームケアのための会議の実施、継続的な職員研修の受講については更に努力し改善することを期待する。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 外部評価の意義や目的を代表者や管理者、職員で話し合い、全職員で自己評価に取り組むよう改善するとともに気付きなどを活かしてサービスの質の向上に取り組むことを期待する。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は市職員や市議会議員、町内会長、老人会会長、民生委員、家族の代表などで2ヶ月に1回開催している。 会議では利用者の状況やサービス内容などを報告し、出た意見等を職員で話し合いサービスの質の向上に活かしている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の意見や苦情があった場合の対応方法を重要事項説明書に明記するとともに契約時に説明している。 玄関に意見箱を設置している。 家族の訪問時に職員から声をかけるなどで意見等を気軽に言い出し易い雰囲気づくりに努めている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会に加入し、夏祭りや運動会などに参加するとともにホームの行事に地域の人々を招待したり、ボランティアを受け入れるなどで地域と交流している。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「一人ひとりを大切に、まごころ込めて、理解し合える家族のように」との理念を掲げ地域の中でその人らしく生活ができるよう支援している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はサービスの提供場面に反映しているが、職員で理念を話し合うまでには至っていない。	○	申し送り時やミーティング時などに理念を唱えるなどで確認し合い、職員に更なる意識づけが望まれる。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、夏祭りや運動会などに参加するとともにホームの行事に地域の人々を招待したり、ボランティアを受け入れるなどで地域と交流している。		
3. 理念を理解するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の結果を実践につなげるために努力をしているが、評価の意義や目的を代表者や管理者、職員で話し合い全職員で自己評価に取り組むまでには至っていない。	○	自己評価を全職員で行い、気付きなどを活かしてサービスの質の向上に取り組むことを期待する。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は市職員や市議会議員、町内会長、老人会会長、民生委員、家族等の代表などで2ヶ月に1回開催している。 会議では利用者の状況やサービス内容などを報告し、出た意見等を職員で話し合いサービスの質の向上に活かしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当課窓口に「困っていませんか？お年寄りのことで」のパンフレットを置いて活用してもらおうなど、行き来する機会をつくっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月家族に金銭管理報告書を送付している。 家族の訪問時に利用者の暮らしぶりや職員の異動などを報告しているが、面会が困難な家族への報告が不足している。	○	定期的に「ホーム便り」を発行しホームでの暮らしぶりやエピソード、職員の異動、実施行事などを報告できるよう取り組むことを期待する。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見や苦情があった場合の対応方法を重要事項説明書に明記するとともに契約時に説明している。 玄関に意見箱を設置している。 家族の訪問時に職員から声をかけるなどで意見等を気軽に言い出し易い雰囲気づくりに努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	代表者は異動や離職を必要最小限に抑える努力をするとともに、やむを得ず交代した場合は利用者の情報や状態、記録を活用して交代した職員に利用者を理解してもらうことでダメージが少なくなるよう配慮をしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は管理者や職員が多くの研修を受講できるよう情報提供に努めているが、パート職員が多いため受講体制が整わず参加するまでには至っていない。	○	サービスの質の向上を図るため、全職員へ研修受講の機会をつくる体制の整備を期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者のネットワークに加入するとともに地域の系列施設と交流を通じてサービスの質の向上に活かしている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前に体験利用をしてもらいホームの雰囲気馴染んでもらうとともに、利用者や家族等が納得したうえで利用を開始できるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者から写経などを学んだり、得意分野で力を発揮できる場面を多くつくるなどで利用者と支え合う関係を築いている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は利用者の生活歴や日々の係わりのなかで利用者の思いや意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画作成にあたり利用者や家族、必要な関係者と話し合うまでには至っていない。	○	利用者がより良く暮らし続けるための介護計画の作成にあたり、利用者や家族、必要な関係者で話し合い、利用者主体の暮らしを反映した介護計画を作成することを期待する。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状態に応じたケアにつなげるために介護計画の見直しが必要であるが、介護計画作成担当者が長期療養のため、6ヶ月ごとの介護計画の作成が滞っている。	○	介護計画は作成期間にとらわれず、利用者の状態の変化に即して見直すことを期待する。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制を活かし必要に応じて通院支援をしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医のほか利用前からのかかりつけ医に受診できるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に「重度化した場合における対応に係わる指針」を利用者や家族等に説明し同意書をもっているが、職員で終末期の対応を話し合うまでには至っていない。	○	利用者の重度化や終末期に向け早い段階から職員で話し合い、方針を共有することを期待する。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の誇りやプライバシーを損ねないように、目立たずさり気ない言葉かけや支援に努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は利用者のペースにそって一人ひとりの状態や思いに配慮しながら柔軟に支援している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は利用者一人ひとりのできることを活かしながら、食事の準備や後片付けなどを利用者と共に行い、同じテーブルを囲んで話をしながら楽しく食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望にそった入浴支援を心がけている。 入浴を拒む利用者には言葉かけに工夫したり清拭などで対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	写経や塗り絵、貼り絵など利用者の希望にそった楽しみごとの支援をしている。 朝は箒とちりとりを使い広間の掃除を日課にしている利用者もいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	初詣や花見、スーパーへの買い物などは皆で出かけているが、一人ひとりの希望にそった日常的な外出支援をするまでには至っていない。	○	天気や利用者の気分、希望にそって心身の活性化につながるよう日常的に散歩や買い物などに出かける支援を期待する。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は職員が目が届く事務室の前にあり、日中は鍵をかけず利用者の自由な暮らしを支援している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力のもと定期的に総合訓練や避難訓練、夜勤職員の訓練を実施しているが、地域の人々の参加や協力が得られるまでには至っていない。	○	地域の人々の参加や協力が得られるよう運営推進会議などで働きかけるとともに、非常用食糧や備品の準備をすることを期待する。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分量の摂取状況を毎日記録するとともに職員で共有している。 栄養バランスや摂取カロリーは、栄養士が専門的な観点からチェックしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間に季節感を味わえるよう工夫するとともに利用者の手作りカレンダーや写真などを飾り、和やかに過ごせるよう配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室に仏壇や本棚など利用者の馴染みの物を置き居心地よく過ごせるよう配慮している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。